

京都創生

KYOTO SOUSEI

第9号



日本の財産である京都を守り、育て、未来へ

本誌は、京都創生推進フォーラムの会員の皆様をはじめ、市民の皆様による京都創生の実現に向けた取組を応援する広報誌です。

【特集1】世界遺産・二条城本格修理事業第一弾・二の丸御殿唐門の修復工事が完了！ ～建築当初さながらの美しい姿によみがえる～

京都市は、世界遺産・二条城を次の世代へ保存・継承していくため、平成23年度から20年間の本格修理事業を行っており、その第一弾となる二の丸御殿唐門・築地（重要文化財）保存修理工事が、今年8月に終了しました。

唐門は、前回の修復工事から36年が経過し、経年による破損が進行していました。今回の修理工事では、飾金具の修理、檜皮葺の葺き替え、破風の漆塗りの塗り替え、彫刻修理等を行いました。足場が外された唐門は、寛永2年（1625年）の建築当初さながらの美しい姿を見せています。

今回の本格修理事業は徳川家康による築城以来の大修理で、多大な資金が必要となるため、二条城では、“世界遺産・二条城一口城主募金”を募っています。日本のみならず、世界共通の財産である世界遺産・二条城をより良い姿で次代へ保存・継承していくために、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。



修復を終えた二条城・唐門

（“世界遺産・二条城一口城主募金”についてのお問い合わせ先：元離宮二条城事務所 TEL：075-841-0096）
ホームページURL：<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/nijojo/>

京都市では、二条城をはじめ、かけがえのない歴史的・文化的資産を保存・継承・活用する取組を進めています。市独自の「京都をつなぐ無形文化遺産」制度を創設し、今年10月にはその第1号として「京の食文化～大切にしたい心、受け継ぎたい知恵と味」を選定しました。京都の長い歴史と四季折々の自然の中、世代を越えて育まれてきた「京の食文化」を、大切に未来につなげていきましょう。

【特集2】京都の広告景観が美しくなっています！

最近、京都の町並みに調和したデザインや大きさの看板が増えてきていることにお気づきの方も多いのではないのでしょうか。

京都市では、建物の高さや外観、眺望や町並みの規制等を全面的に見直した「新景観政策」を平成19年9月から実施しており、屋外広告物についても、地域の特性に応じた「面積」「色彩」「高さ」等、条例で、全国でも例を見ないきめ細やかな基準を設けています。

平成24年度からは、屋外広告物対策を抜本的に強化し、平成26年8月31日までに、京都市内のすべての屋外広告物を適正に表示していただくことを目標に、「屋外広告物制度の定着促進」「是正のための指導の強化と支援策の充実」「京都に相応しい広告物の普及促進」の3つを柱に、集中的に取組を推進しているところです。

また、この10月には京都市屋外広告物総合ホームページ「京都かんぱねっと」を開設。京都景観賞受賞作品をはじめ京都の財産となる優れた屋外広告物や、京都の美しい景観を守り続けようと、共に取り組んでいただいている事業所等が紹介されていますので、是非、皆さんもご覧ください。

屋外広告物の適正化の取組は、京都にふさわしい景観を創り、京都の都市格を高め、京都のまちの良好な景観を実感していただくための取組です。屋外広告物の是正に、関係者の皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いします。（「京都かんぱねっと」URL：<http://www.kyoto-kanban.net/>）



京都景観賞屋外広告物部門 市長賞を受賞された一保堂茶舗さんの看板

京都創生推進フォーラムは、「国家戦略としての京都創生」の趣旨に賛同する団体、企業、市民が集まり、その実現に向けて自ら取り組み、相互に協力し、活動の輪を広げることで、京都から広く国内外に京都創生の機運を高めていくことを目指しています。

シンポジウム 京都創生推進フォーラム

京都創生推進フォーラムと京都市では、京都創生の実現に向けた市民の皆さんによる自主的な活動を推進するため、シンポジウムを開催しています。

今回のシンポジウムでは、世界から伝わった多様な文化を受入れ、創造・融合を繰り返してきた京都を、未来に大切に引き継ぎ、これからも世界中の人々を魅了し続けるまちであるために、私たちができることを考えました。

日時 平成25年8月2日（金）

会場 宮川町歌舞練場

第9回目となる今回のシンポジウムでは、定員を大きく上回るご応募をいただき、当日は、460名の参加者で、会場は満員となりました。

シンポジウムに先立ち、オープニングでは、宮川町歌舞会の芸舞妓による舞が披露され、続いて京都創生推進フォーラムの立石義雄代表、門川大作市長（ビデオメッセージ）による主催者挨拶、京都創生の取組報告が行われました。



パネルディスカッション

「京の美と技 一時を超え 世界から、そして世界へ」

シンポジウムでは、「京の美と技 一時を超え 世界から、そして世界へ」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションでは、世界性・歴史性を軸に、「京観」（京都の景観）、「京感」（京都人の感性・美意識）、「京涵」（次世代の涵養＝育成）という3つの観点から、「京の美と技」について、また、次の世代のために京都が目指す方向性などについて、各分野の第一線で活躍されている出演者の皆様による意見交換が行われました。

出演者の主な発言

■高橋 拓児 氏（京料理「木乃婦」若主人）



○日本料理は全国の第1次産業、第2次産業の生産者に支えられ、非常に高いレベルで作りこまれているものなのだと、最近になってあらためて気付きました。

今、料理界全体で、和食を世界遺産に登録しようという活動を行っています。世界に向けた発信だけでなく、日本人にも日本料理の素晴らしさをわかっていただきたいという強い思いがあるからです。

○料理は時代背景を踏まえてどんどん変化してきました。変化に合わせて、僕たち料理人も変わっていかなくてはなりません。そして、新しい提案をすることが必要です。若い料理人を育てることも自分の仕事だと思っています。

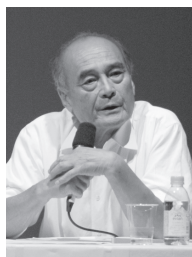
■鳥羽 美花 氏（染色画家）



○ベトナムを訪れ、その風景を「型染め」で残したい、そして千年以上受け継がれた「型染め」は、世界にも通じる日本の文化であり、次に引き継いでいけたらどんなに良いかと思いました。

○学生を指導する際「海外に出た時に自分は何を中心にして日本を語るのか。自慢できるものを持って外に出てほしい」と言っています。日本は、若い人の活動をサポートする体制が、他の先進国に比べて弱いように思います。また、京都で革新的な今の芸術作品を一堂に見られる場所は少ないと思います。色々な取組をしている京都が発信源になれば、もっと日本中が良くなるのではないのでしょうか。

■吉田 孝次郎氏（公益財団法人祇園祭山鉾連合会理事長 京都生活工芸館無名舎主）



- 私の家は明治42年来、104年の年月しか経っていませんが、この生活面は11世紀から商人が住み続けたところで、千年間の経験を積重ねた結果、「表屋造り」という町家様式に到達しました。京都はそういう運命を背負っているまちですから、単に町家保存だけの観点に留まらず、格調高くありたいと考えています。そして先人たちの都市市民としての教養を、もう一度取り戻したい。
- 近年、圧倒的に増えてきたマンション住まいの若い世代は、祇園祭の未来を担う存在でもありますから、そうした皆さんに祭の意義をきちんと伝承することが私の責務だと思っています。

■山本 壯太氏（古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー）



- おそらく京都が目指すべき方向は、世界的な大都市ではなく、もっと人間的に住みやすく、文化や個性などが薫る創造的な都市であるように思います。その実現には、まだ様々な問題が山積していることは確かで、その解決に向かって、我々一人一人がどのように京都を考えれば良いのかということは、とても大切なことだと思います。
- 次の世代も、私たち同様に、「ここは私のまちです。私にとっての京都です。」という感覚を持てるようにするには、何ができるのか？ そういった意識で「いろいろな側面から見ていく」「臨んでいく」「行動していく」ということが京都創生にとって大事なのではないかと、皆さんの話を聞いて思いました。（写真提供：京都新聞社）

シンポジウムの詳しい内容（摘録）は、「京都創生推進フォーラム」ホームページでご覧いただけます。

（アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>）

また、インターネット動画を視聴いただくこともできますので、こちらもご利用ください。

（アドレス <http://www.ustream.tv/user/kyoto-shiminsanka>）

オール京都で、リニア中央新幹線の京都誘致に取り組んでいます！

新たな交通の大動脈となるリニア中央新幹線は、京都を通らないルートで、国の計画が進められています。しかし、千年を超えて、日本の文化、学術、宗教等の中心として人々を魅了し続ける京都が、ルートから外れることは、我が国の未来にとって大きな損失です。

現在、京都市、京都府、経済界等オール京都の体制で、国への働き掛け等、「京都駅ルート」の実現に向けた取組を進めています。

リニアを、京都へ。

京都創生PRポスター「日本に、京都があったよかった。」 第21弾発行のお知らせ

京都創生推進フォーラムと京都市では、「国家戦略としての京都創生」を広くPRし、機運を高めていくため、「日本に、京都があったよかった。」をキャッチフレーズとする京都創生PRポスターを作成しています。

第21弾となる今回のポスターでは、京都市の景観重要建造物に指定されている吉田邸（京都生活工芸館無名舎）を採り上げました。吉田邸は、明治42年に建てられ、京商家の典型ともいえる表屋造りで、素晴らしい京町家の佇まいを今に伝えます。

このポスターを市民の皆様をはじめ、多くの方々に御覧いただき、改めて、京都がもつ歴史的・文化的資産の素晴らしさを再認識していただくとともに、これからは世代を超えて歴史の中で育まれてきた、かけがえのない文化を守り、育て、未来に伝えていく機運を高めていきたいと考えています。



※本ポスターと同デザインの『スルッとKANSAI都カード』が11月下旬（予定）に登場します！

イベントカレンダー

京都創生推進フォーラム会員が実施する催し等をご紹介します。

京都創生推進フォーラムのホームページでも、当会員が実施する催しを紹介しています。(アドレス <http://www.kyoto-sousei.jp/>)

事業名	概要	開催期間	会場(住所)	料金	申込	主催者等
仁和寺霊宝館秋季名宝展	国宝阿弥陀三尊像をはじめ、仁和寺に伝わる宝物を多数公開します。	開催中～ 11/24(日) 9:00～17:00 (16:30受付終了)	仁和寺霊宝館 (京都市右京区御室大内33)	500円	不要	世界遺産 仁和寺 (075-461-1155)
妙心寺麟祥院特別公開	春日局ゆかりの寺院。海北友雪作の襖絵「雲龍図」などが公開	開催中～ 12/1(日) 10:00～16:00	妙心寺 (京都市右京区花園妙心寺)	600円	不要	京都春秋事務局 (075-231-7015)
秋季企画展 装“よそほひ”の学び展	戦前の教育の中で用いられた“よそほひ”の教材・教具を展示します。	12/6(金)までの月・水・金と11/24(日)、12/1(日)開館 13:30～17:00	京都教育大学教育資料館 まなびの森ミュージアム (京都市伏見区深草藤森町1)	無料	不要	京都教育大学教育資料館 (075-644-8175)
大徳寺黄梅院秋の特別公開	千利休作の直中庭や武野紹鷗好みの茶室昨夢軒が公開されます。	開催中～ 12/8(日) 10:00～16:00	大徳寺 (京都市北区紫野大徳寺町)	600円	不要	京都春秋事務局 (075-231-7015)
漬物教室	家庭のできるヌカ漬の作り方をお教えします。	開催中～ 12/15(日) (日・祝日除く) ①10:00～11:00 ②14:00～15:00	川勝總本家 (京都市下京区大宮通五条上る上五条町394)	2,000円	要	川勝總本家 (075-841-0131)
京都観光写真展	京都の魅力ある観光地や行事・史跡等を紹介している写真展です。	開催中～ 3/31(月) 9:00～15:00	京都銀行営業店ロビー	無料	不要	京都銀行 (075-361-2293)
御箏の会	古典を中心とした邦楽(箏、三絃、尺八)の会です。	11/24(日) 13:00～15:30	京都文化博物館 6階ギャラリー (京都市中京区三条高倉)	無料	不要	福森文子 (075-231-1829)
大般若転読法要	大般若経六百巻を転読し、参拝者に身体健勝・病氣平癒の加持を行います。	11/29(金) 14:00～15:30	聖護院門跡 (京都市左京区聖護院中町15)	無料	不要	聖護院門跡 (075-771-1880)
第26回京都美術文化賞受賞記念展	第26回受賞者の麻田脩二・清水六兵衛・川瀬敏郎による展覧会。	1/17(金)～1/26(日) 10:00～18:00 (最終日は17:00)	京都文化博物館5階展示室 (京都市中京区三条高倉)	無料	不要	中信美術奨励基金 (075-223-8385)
節分会追儺式と護摩	年男・福女・鬼までが豆を撒く追儺式、山伏による大護摩を執行します。	2/2(日)～2/3(月) 9:00～19:00	聖護院門跡 (京都市左京区聖護院中町15)	無料	不要	聖護院門跡 (075-771-1880)
初午大祭	稲荷大神が2月初午の日にご鎮座されたことにちなむお祭りです。	2/4(火) 8:00～ (1時間程度)	伏見稲荷大社 (京都市伏見区深草藪ノ内町68)	無料	不要	伏見稲荷大社 (075-641-7331)
常楽会	国宝金堂に大きな涅槃図を掲げて、お釈迦様の入滅をお偲びします。	2/15(土) 9:30～15:00頃	仁和寺金堂 (京都市右京区御室大内33)	無料	不要	世界遺産 仁和寺 (075-461-1155)
第39回公募昭和美術会展	京都を拠点とする全国公募の展覧会。油彩画・日本画・水墨画・水彩画の大作。	3/18(火)～3/23(日) 9:00～17:00	京都市美術館 (京都市左京区岡崎公園内)	800円	不要	昭和美術会 (075-751-8938)

○各事業の詳細は、主催者へお問い合わせください。

○内容は、予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

京都創生推進フォーラム広報誌 「京都創生」

発行日 平成25年11月19日

発行 京都創生推進フォーラム(事務局:(公財)京都文化交流コンベンションビューロー 京都市中京区烏丸通奥川上ル 京都商工会議所ビル5F TEL.075-212-4540 FAX.075-212-4121)

※タイトルは平安時代の名筆をもとに作成しました。